

沿革略史

- 昭和24. 3. 25 兵庫県農科大学開設許可（兵庫県多紀郡篠山町東浜谷）
- 昭和24. 4. 1 農学科をもって発足
- 昭和26. 4. 1 農芸化学科，畜産学科を増設
- 昭和27. 4. 1 兵庫農科大学に名称変更
- 昭和39. 4. 1 農学科を園芸農学科，植物防疫学科，農業生産工学科に改組
- 昭和41. 4. 1 神戸大学農学部設置（兵庫県多紀郡篠山町東浜谷）
農学部1回生入学
- 昭和42. 6. 1 附属農場を設置
- 昭和42. 10. 16 神戸市灘区六甲台1に移転
- 昭和42. 11. 1 農学部1回生専門教育課程進学
- 昭和45. 4. 30 農学部1回生卒業
- 昭和47. 4. 1 神戸大学大学院農学研究科設置（園芸農学専攻，植物防疫学専攻，農芸化学専攻，畜産学専攻の4専攻をもって発足）
- 昭和48. 4. 1 農学研究科に農業生産工学専攻を設置
- 昭和54. 4. 1 生産科学専攻（後期3年博士課程）が独立専攻として工学研究科に設置された。
- 昭和55. 4. 1 農業生産工学科を農業工学科に名称変更
物質科学専攻（後期3年博士課程）が理学研究科に，システム科学専攻（後期3年博士課程）が工学研究科に独立専攻として設置された。
- 昭和56. 4. 1 農業生産工学専攻を農業工学専攻に名称変更
自然科学研究科（後期3年博士課程）が設置された。
物質科学専攻（理学研究科物質科学専攻を移行）
生産科学専攻（工学研究科生産科学専攻を移行）
資源生物科学専攻
環境科学専攻
システム科学専攻（工学研究科システム科学専攻を移行）
- 平成元. 4. 1 知能科学専攻が設置された。
- 平成5. 4. 1 応用動物学科，植物資源学科，生物環境制御学科，生物機能化学科，生産環境情報学科に改組
- 平成6. 4. 1 理学研究科，工学研究科及び農学研究科が，自然科学研究科の前期課程として改組・統合され，自然科学研究科は，前期2年及び後期3年の課程に区分する博士課程の独立研究科となった。
後期課程に生命機能科学専攻が設置された。
- 平成9. 4. 1 後期課程の「物質科学専攻」，「環境科学専攻」及び「知能科学専攻」が廃止され，「情報メディア科学専攻」，「分子集合科学専攻」及び「地球環境科学専攻」が設置された。
- 平成10. 4. 9 後期課程の「資源生物科学専攻」及び「システム科学専攻」が廃止され，「構造科学専攻」及び「資源エネルギー科学専攻」が設置された。
- 平成11. 4. 1 後期課程の「生産科学専攻」及び「生命機能科学専攻」が廃止され，「システム機能科学専攻」及び「生命科学専攻」が設置された。

- 平成12. 4. 1 生産環境情報学科を食料生産環境工学科に名称変更
- 平成13. 4. 1 生産環境情報学専攻を食料生産環境工学専攻に名称変更
- 平成15. 4. 1 附属食資源教育研究センターを設置
- 平成15.10. 1 神戸商船大学との統合による第3次改組を行い、後期課程の「情報メディア科学専攻」、「分子集合科学専攻」、「地球環境科学専攻」、「構造科学専攻」、「資源エネルギー科学専攻」、「システム機能科学専攻」及び「生命科学専攻」は廃止され、「数物科学専攻」、「分子物質科学専攻」、「地球惑星システム科学専攻」、「情報・電子科学専攻」、「機械・システム科学専攻」、「地域空間創生科学専攻」、「食料フィードバック科学専攻」、「海事科学専攻」、「生命機能科学専攻」、及び「資源生命科学専攻」の10専攻が設置された。
- 平成16. 4. 1 国立大学法人神戸大学となった。
- 平成19. 4. 1 自然科学研究科の第4次改組により、理学研究科、工学研究科、農学研究科、海事科学研究科及び自然科学系先端融合研究環が設置された。農学研究科では、博士課程前期課程及び博士課程後期課程に「食料共生システム学専攻」、「資源生命科学専攻」、「生命機能科学専攻」の各専攻が設置された。
- 平成20. 4. 1 農学部は5学科から3学科（6コース）に改組され、食料環境システム学科（生産環境工学コース・食料環境経済学コース）、資源生命科学科（応用動物学コース・応用植物学コース）及び生命機能科学科（応用生命科学コース・環境生物学コース）の各学科（コース）が設置された。
- 令和2. 4. 1 農環境生物学講座を応用機能生物学講座に名称変更
環境生物学コースを応用機能生物学コースに名称変更